

道 宮 住 宅

道営住宅-037

施設名 — 千歳市道営住宅（やまとの杜団地）

所在地 — 千歳市大和4丁目3-24

構造・規模 — C団地 RC造 5階建 3,440㎡
D団地 RC造 5階建 3,043㎡

完成年月日 — 平成20年8月6日

基本計画 — (株)安藤敏郎建築設計事務所

建築実施設計 — (株)安藤敏郎建築設計事務所

設備実施設計 — (株)ピーゴーイング

土木実施設計 — (株)ホクスイ設計コンサル



【設計コンセプト】

千歳市と支笏湖を結ぶ道道支笏湖公園線から程近く、緑豊かな環境に佇む150戸の道営住宅です。

○ 配置計画

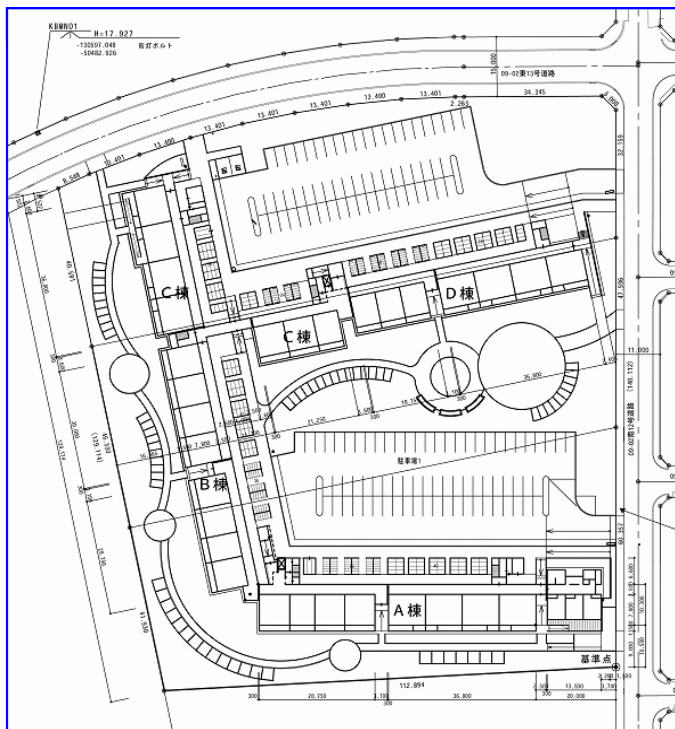
各棟を繋いで1棟とし、全ての住戸が3時間以上の日照を得られるように南向き及び西向きのコの字型住棟としました。児童遊園をこの字の中ほどの日当たりが良く、住棟から見守れる位置に配置しています。さらにコミュニティ広場を児童遊園と一体的に整備し、東側の住宅地に開くことで地域の人々との交流の場として多目的に活用できるよう計画しています。

○ 住棟計画

シルバーハウジング住宅は歩行距離の短さ、入居者同士の支えあいによる良好なコミュニティの形成に配慮してEVホルの近くに配置しました。障がい者向け住宅は避難が容易な1階に配置しました。フラットスラブと外断熱を採用することで、ユニバーサルでサステナブルな建築を目指しています。

○ 住戸計画

シルバーハウジング住宅は一般住戸の基本仕様に加え、緊急通報システムを備えた住宅として整備しています。障がい者向け住宅は、車椅子を常用することで自立した生活が可能となる住戸として整備しています。



道営住宅-038

施設名 — 芦別市道営住宅（ふれあい団地）

所在地 — 芦別市本町1065番67

構造・規模 — RC造 5階建 4,057㎡

完成年月日 — 平成20年12月19日

基本計画 — (株)アトリエバンク

建築実施設計 — (株)アトリエバンク

設備実施設計 — アド・エンジニアリング(株)

土木実施設計 — (株)サッポロ・エンジニアーズ

【設計コンセプト】

道では、まちなか居住の推進を図っており、平成19年2月に策定した北海道住生活基本計画において、まちなか居住をについて、まちづくりや地域福祉といった幅広い施策や取組と連携を図り、安心して暮らすことの出来る質の高い居住環境の形成を図ることとしています。芦別市中央団地は、まちなか居住について公営住宅整備におけるモデル的な取組として位置付け、以下の基本方針に基づき整備を進めることとします。

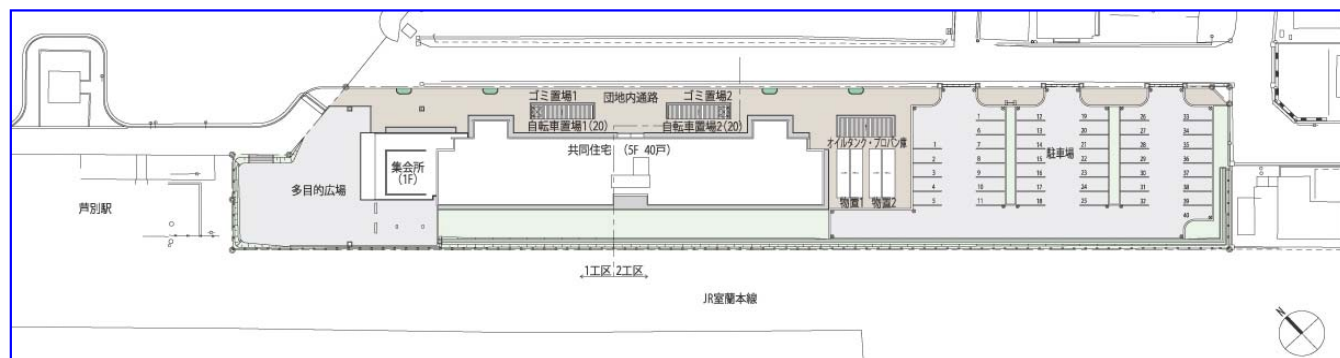
「まちなかの魅力と賑わいを創出し、安心して豊かに暮らせるまちなか居住を実現」

- 地域福祉との連携によるまちなか安心居住の実現

入居する高齢者世帯や子育て世帯等に対して、既存の地域福祉施策や取組等との連携を図ることで、安心して暮らせるまちなか居住を提供します。特に、見守りが必要な高齢者世帯に対しては、シルバーハウジングの新展開として、既存の芦別市の福祉施策や社会福祉協議会の活動と連携した芦別型シルバーハウジングを実施します。

- 中心市街地の活性化に資するまちなか交流拠点の形成

団地集会所や屋外広場を活用し、入居者やまちなか居住者、まちなかに来る市民等が気軽に集える交流拠点を形成します。入居者間や地域住民等との交流の促進や社会参加機会の創出等に資する取組を実施するとともに、多様な活動・行事等を展開することでまちなかの魅力を高め中心市街地の活性化に寄与します。



道営住宅-039

施設名 — 深川市道営住宅（であえ～る北光中央団地）

所在地 — 深川市北光町1丁目1-37

構造・規模 — RC造 5階建 5,216㎡

完成年月日 — 平成20年12月16日

基本計画 — (株)都市設計研究所

建築実施設計 — (株)都市設計研究所

設備実施設計 — (株)共伸設備設計事務所

土木実施設計 — (株)帝国設計事務所



【設計コンセプト】

本団地は道営住宅の子育て支援住宅のモデルとして、道と建設地となる深川市の連携によって、検討を進め建設された団地です。

○ 地域の連携による子育て環境の向上

敷地はJR深川駅北側に位置する区画整理事業区域内で、北側には大正緑道、南側は駅北広場が整備されるなど憩いの場にも恵まれており、駅周辺には公共生活利便施設が多く立設していることから利便性の高く住みよい環境です。

深川市が集会所を活用した子育て支援サービスを提供し、その集会所は深川駅・児童遊園・ホール(共用玄関)に最も近い形で配置し、南側道路(市道太子町新町通)を通り過ぎる地域の人や住民にも子育てサービスの状況の気配が感じられるよう配慮しています。集会所には乳幼児の利用にも配慮した多目的便所を設けています。また、ベビーストや幼児用便座も整備しています。

○ 住棟計画

建物は5階建L型住棟で1期工事40戸、2期工事20戸の合計60戸になっています。その内、2LDKのタイプの子育て支援住宅は15戸あり、一般住宅仕様に加え、主寝室と寝室の可動間仕切りとし、子どもの成長に合わせて部屋の広さを変更可能な可動家具を設けています。

また、子育て支援住戸は全て児童遊園に面した形で配置され、遊んでいる子どもの様子が容易に伺える計画になっています。前面道路からホールまでのホー-ルは雁木空間になっており、快適な冬期歩行空間を確保しています。

